

平成12年度 第2回収蔵文書展

北埼玉地方の文書

小林 官吉
Kobayashi Kankichi

井狩 官太夫
Ikari Kandayu

清水 卯三郎
Shimizu Usaburo

三村 正利
Mimura Masatoshi

岡戸 文右衛門
Okado Bunemon

長谷川 敬助
Hasegawa Keisuke

近世・近代を
支えた人々

2000年10月21日(土) ~ 12月17日(日)

埼玉県立文書館

開催にあたって

当館では、平成6年度から収蔵古文書を地域別に展示する収蔵文書展を開催してまいりました。シリーズ8回目を数える今回は、県北東部に位置する「北埼玉地方」を取り上げます。

当地方は埼玉古墳群に象徴されるように古代より開けた地域であり、古墳群が所在する「さきたま」の地は、県名発祥の地とされています。近世になると忍藩の城下町や日光脇往還が整備され、文化的にも進んだ地域として発展しました。幕末から明治初期に活躍し、国際的な貿易商として名を成した清水卯三郎も、この地方の出身です。

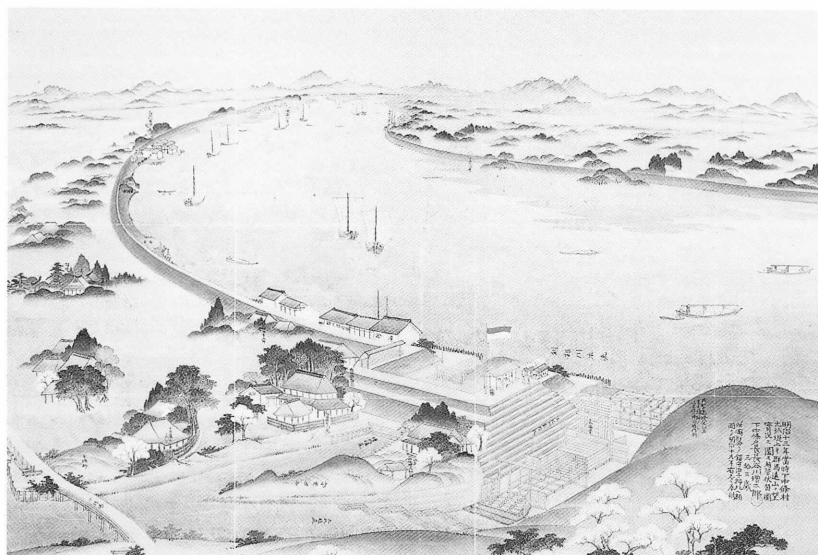
今回の展示では、特に近世・近代の北埼玉地方を各方面で支えた6名の人物にスポットを当て、時代を逞しく生き抜いた姿を御紹介いたします。

本展示が、北埼玉地方における現在の礎^{いしづえ}を築いた先人に思いを馳せる契機となり、さらにこれからの地域像を創造する一助となりましたなら幸いです。

最後に、本展示を開催するにあたり貴重な資料を御提供くださいました寄贈・寄託者の方々、また御協力をいただいた関係各位に対し、深く感謝申し上げます。

平成12年10月

埼玉県立文書館



もとよりひ かんふせかえす
1 明治年間元杵樋管伏替図 埼玉県立文書館保管 見沼土地改良区文書100

「坂東太郎」の異名をもつ利根川は、北埼玉地方の人々に多くの恵みを運んだ川であったが、度重なる大水により人々を悩ます川でもあった。

凡例

- 1 本書は、平成12年10月21日から12月17日まで開催する平成12年度第2回収蔵文書展「北埼玉地方の文書—近世・近代を支えた人々—」の展示解説書である。
- 2 本書掲載の番号は、巻末の展示資料一覧の番号と一致する。
- 3 本文中の文書名は、原則として原文のままとした。ただし、年号や適切な表題がない場合は、推定年号や補題を〔 〕内に記した。
- 4 会期中に展示替えを行うため、本書に掲載されている資料でも、期間により展示されていない場合がある。
- 5 本書の編集及び執筆は、古文書課学芸員加藤かな子が担当した。

小林 官吉

こばやし かんきち

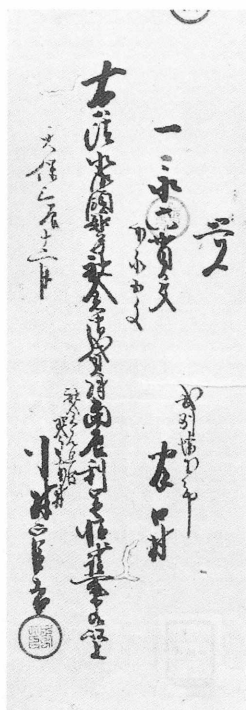
?~弘化4(1847)年8月13日

琴寄村(現・大利根町)生まれ。小林家七代目当主。勘吉・子康とも称した。文政6(1823)年に家督を相続し、琴寄村名主役に就いた。貧民救済による褒賞も数度に及び、名字帯刀も許されている。その影響からか刀剣にも興味があったようで、刀剣類の収集・売買を行うとともに、自ら蜻洲という俳号を持つなど文化人としての一面も覗かせる。

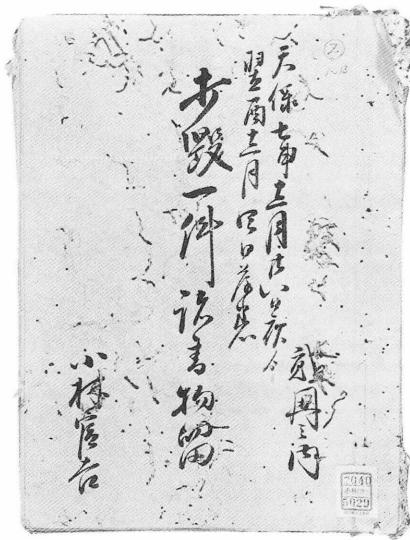
小林家に3年間滞在した桂園派の歌人内山真弓は、「影たかき 杉の小林とみさかへ かくて千年も 杉の小林」と、小林家の変わらぬ繁栄ぶりを詠んでいる。



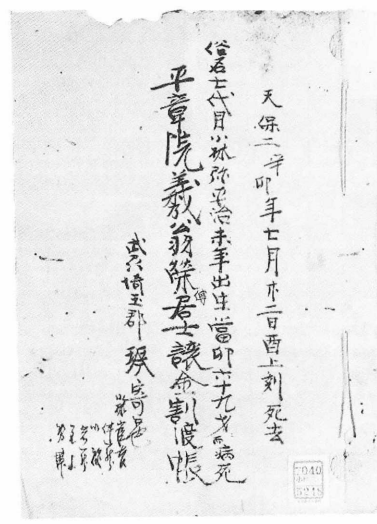
3



6



8



9

3 [埼玉郡向川辺領・葛飾郡嶋中川辺領水腐地絵図] 埼玉県立文書館保管 小林(茂)家文書1879

琴寄村は、近世初期の利根川改修により四方を河川と堤防に囲まれた向川辺領13か村のひとつで、たびたび利根川の乱流による水害に悩まされていた。文書に「水くさり」と記されている田も少なくなく、水害による損失が大きかったことが窺える。

6 覚(社倉貸附利足請取) 天保3(1832)年 埼玉県立文書館保管 小林(茂)家文書3226-14

官吉は清水家に支配が移った文政9(1826)年に社倉見廻役、天保14年(1843)には社倉見廻役兼取締役頭取に任じられている。この請取には、官吉自筆のサインが見える。

8 打毀一件諸書物留 天保8(1837)年 埼玉県立文書館保管 小林(茂)家文書5029

全国的に世情が不安定だった天保7(1836)年、小林家は12月28日の夜に近隣13か村約千人の農民から襲撃された。当資料は打毀の様子や首謀者安蔵の取調状況など、事件の顛末について官吉が詳細に記録したものの。

9 [六代目弥平治遺言議金割渡帳] [天保] 埼玉県立文書館保管 小林(茂)家文書5248

六代目弥平治は「先祖代々子孫繁栄」のため、生前から窮民救済貸付金として村へ15両を譲り渡すと遺言していた。官吉も父の意志を継ぎ、たびたび救済活動を行っている。

清水卯三郎

しみず うさぶろう

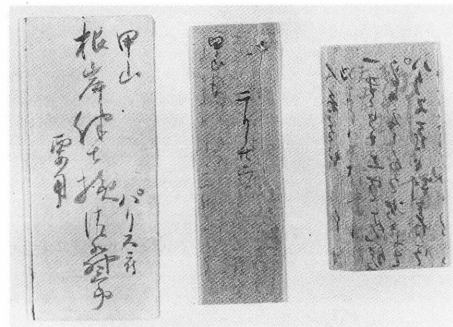
文政12(1829)年3月4日～
明治43(1910)年1月20日

養沢村(現・羽生市)生まれ。酒造業を営む清水誓一の三男として誕生した卯三郎は、21歳の時江戸に出て商人として働く一方、外国の国々への興味からオランダ語や英語を習得した。

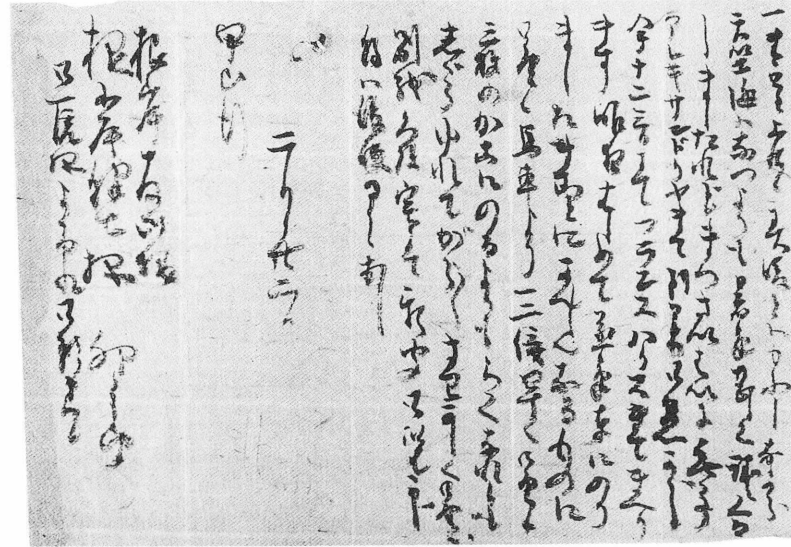
薩英戦争に際し通訳としてイギリス船に単身乗り込み和平に尽力したこと、渋沢栄一らと共に慶応3(1867)年に開催されたパリ万博に参加したこと、帰国後の明治5(1872)年国民の文化的見識の向上を目的として、政府に日本万国博開催の建白書を提出したことは、特に有名である。

パリ万博終了後、アメリカを経由して約1年後に帰国し、日本橋本石町に瑞穂屋商店を開業、以降「瑞穂屋卯三郎」とも名乗るようになった。瑞穂屋では、フランスから西洋花火、イギリスから歯科医療器具を輸入・販売し、印刷機も輸入して出版業も行っており、日本の技術・文化面に大きな影響を与えた。

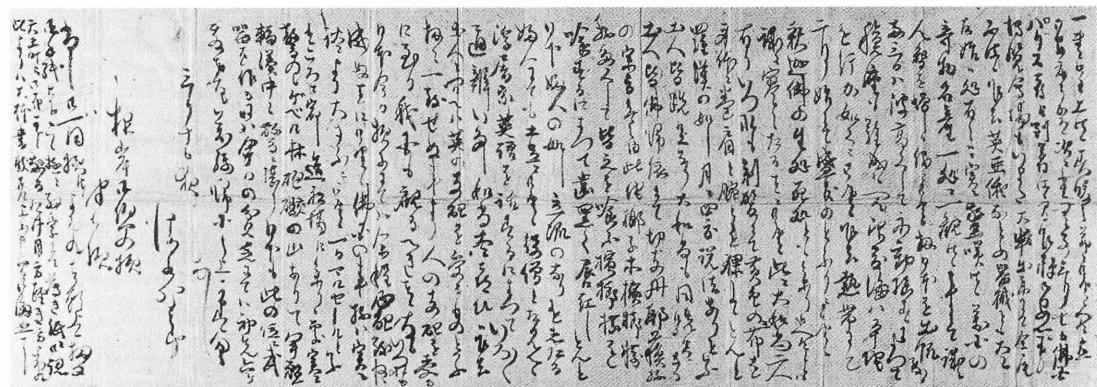
また、卯三郎は、日本国民への知識の普及・啓蒙には、「言文一致」が望ましいという信念のもと、かな文字の普及に努め、かな文字を扱った書物も出版している。



資料24(中央)・25(右)が納められている封筒(左)の文字は卯三郎の自筆であるが、まだ郵便制度がなかった幕末の日本に、どのような方法で手紙が届けられたかは不明である。

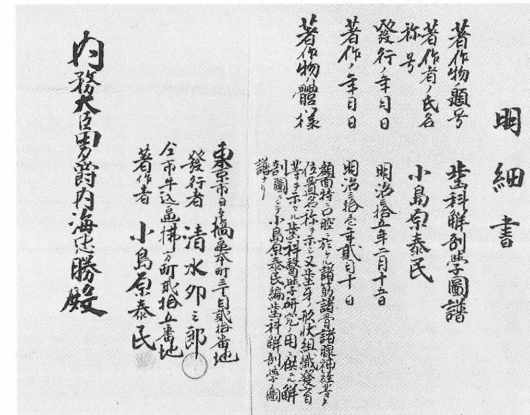


24

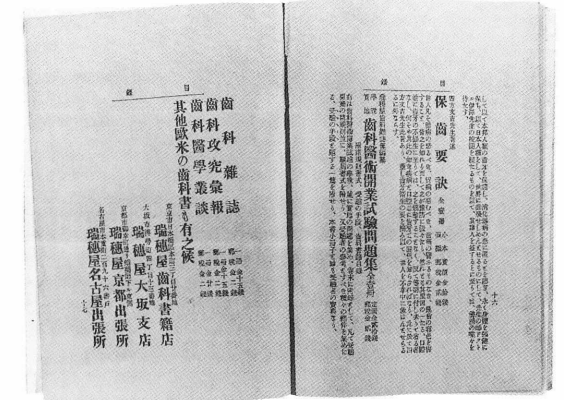


25

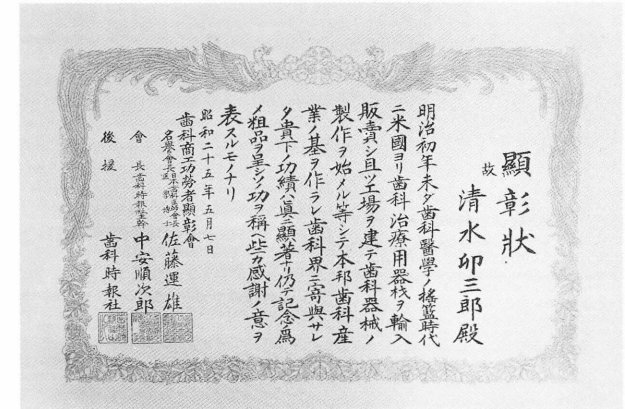
- 24 [清水卯三郎書状] (根岸友山・伴七宛) [慶応3(1867)]年 埼玉県立文書館保管 根岸家文書5138
2月22日付。甲山村(現・大里村)の豪農として有名な母方の叔父根岸友山とその子伴七(武香)宛てに、アレキサンドリア(エジプト北部の都市)から出された書状。パリ到着までにあと12~13日かかること、昨夜はじめて蒸気機関に乗りその早さに感心したが揺れがひどかったこと、などが書かれている。
- 25 [清水卯三郎書状] (根岸友山・伴七宛) [慶応3(1867)]年 埼玉県立文書館保管 根岸家文書5139
3月10日付。パリ到着後に出された書状。世界各国から会場に集められた器械や奇物・名産、そしてマルセイユの造船所で見た軍艦に驚嘆したことなどが書かれている。また、イギリスの支配下にあるインドの情勢を窺見し、日本も欧米列強に充分注意すべきであると述べている。



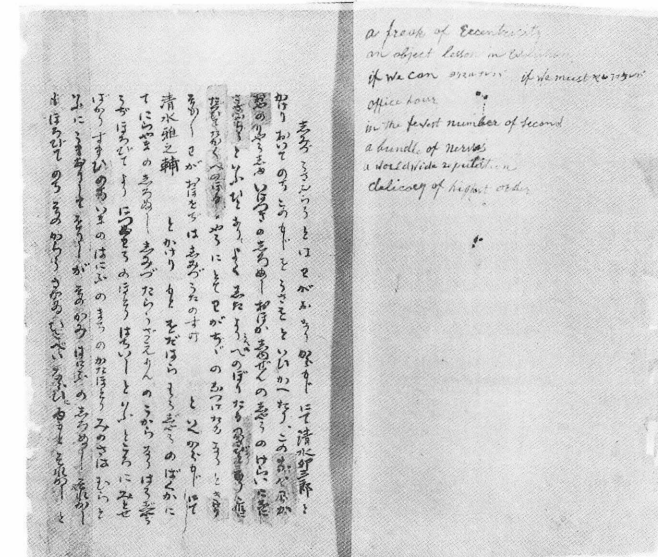
29



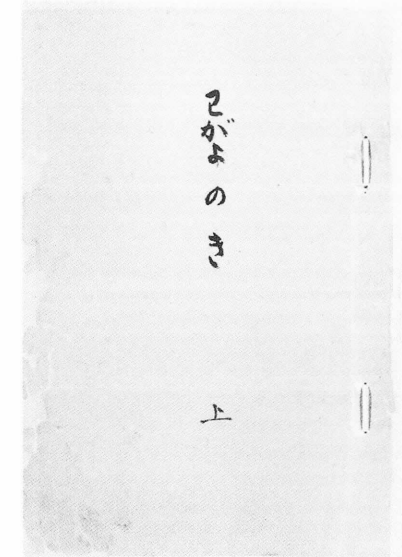
30



32



33 (巻頭)



33 (表紙)



- 29 明細書(歯科解剖学図譜) 埼玉県立文書館所蔵 清水家文書10
- 30 歯科学叢書 明治31(1898)年 埼玉県立文書館所蔵 清水家文書43
- 32 顕彰状並びに賞状 昭和25(1950)年 埼玉県立文書館所蔵 清水家文書41
卯三郎が歯科器材の輸入をはじめて行ったのは、明治7(1874)年のことという。卯三郎は単に器材の輸入販売に止まらず、瑞穂屋で歯科技工の職人を育て、国産の歯科器材を作っている。また、多くの歯科関係出版物の発行も手掛けており、その功績により没後40年を経た昭和25年、歯科商工功労者顕彰会から顕彰状を授与されている。
- 33 わがよのき上 [明治32(1899)]年 埼玉県立文書館所蔵 清水家文書1
卯三郎自筆の自伝。誕生からパリ万博へ出航するまでの39年間に記されている。68歳で隠棲した後、明治32(1899)年70歳の時には200頁にのぼるこの「上」を書き上げており、文章全体がかな文字で記されている点は、かな文字主義者の卯三郎らしい。これに続くと思われる「中」あるいは「下」は、残念ながら現在まで見つからない。

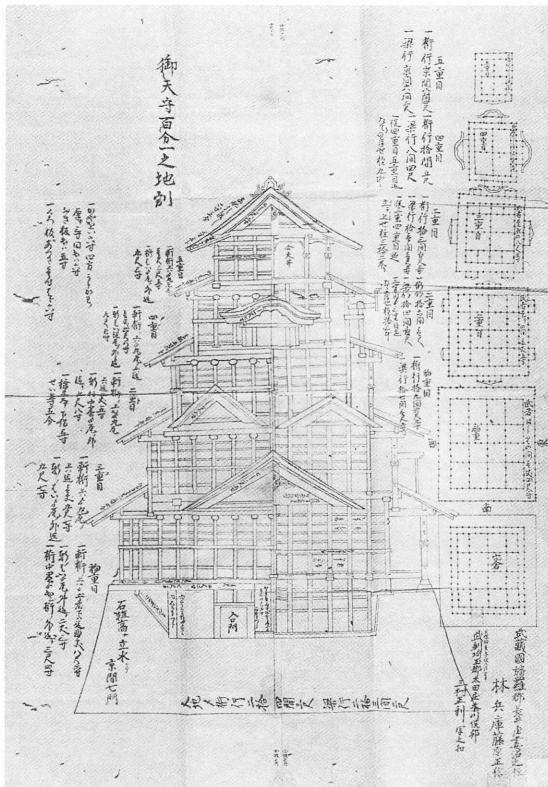
三村 正利

みむら まさとし

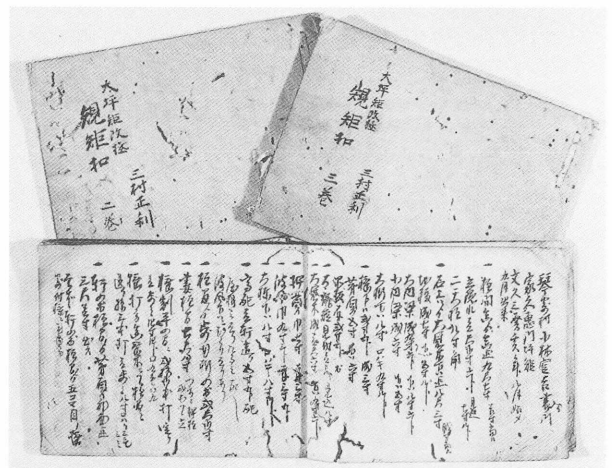
文化元(1804)年11月14日～

明治25年(1892)12月29日

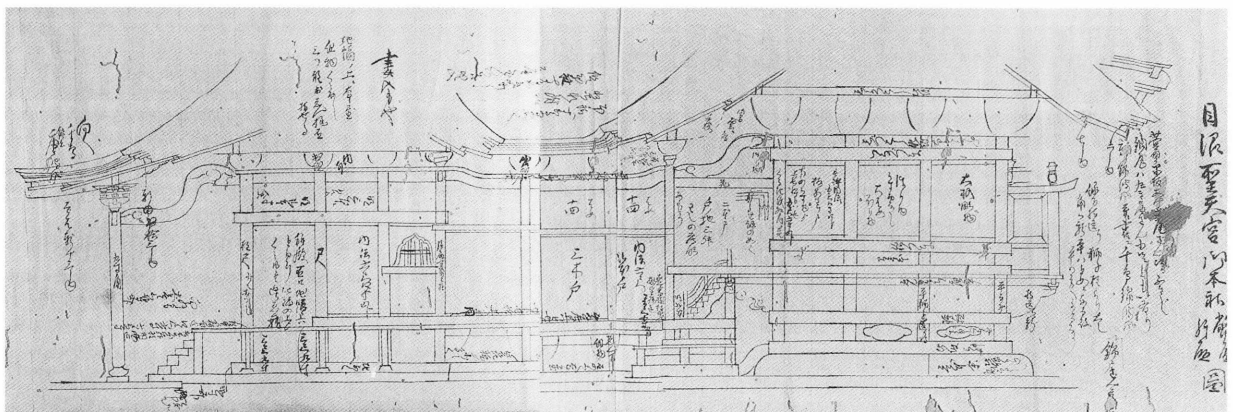
川俣村(現・羽生市)生まれ。若くして京都の神祇官卜部家から「神祇祭式立柱上棟祭事行事作法」を伝習し、「若狭」の職号を受ける。寺社の寸法や仕様を記した手控書の類には、主に埼玉郡北部地方から東上州にかけての寺社が多く見られるが、中には秩父の寺社や日光東照宮も含まれている。また、妻沼歎喜院聖天堂(宮)の建立に携わった林正信所有の江戸城の絵図面を模写しており、宮大工の棟梁林家との親交が窺われる。



36



37~39



40

36 御天守百分之地割 天保10(1839)年 埼玉県立文書館保管 三村家文書45

「御天守」とは江戸城の天守閣のことで、明暦3(1657)年に起きた明暦の大火で焼失以降再建されなかった。当資料には、林正信所蔵の地割図を、天保10(1839)年8月に三村正利が写したものの控であることが明記されている。

37~39 大坪矩改極規矩控 二・三・四巻 埼玉県立文書館保管 三村家文書61・62・63

自らが携わった寺社の建築作業について、開始時期から終了時期、建物の各名称と寸法・図面・材料などが詳しく記されている。また、宮大工同士の情報交換に関する記述も見られ、当時の建築技法や作業工程を知るうえで興味深い資料である。

40 [妻沼歎喜院聖天堂他木割図](部分) 埼玉県立文書館保管 三村家文書52

歎喜院聖天堂を横から見た図が描かれている。各部位の寸法や技法などに関する細かい書き込みが見られるが、聖天堂の特徴である彫刻についての説明はほとんどない。

岡戸文右衛門

おかど ぶんえもん

天保6(1835)年9月29日～
明治39(1906)年9月13日

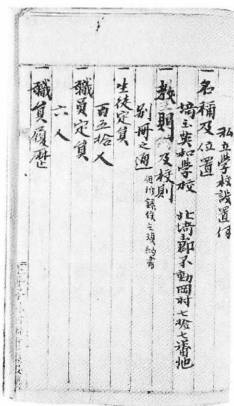
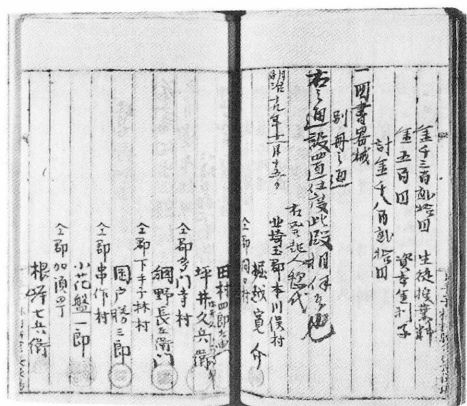
下手子林村（現・羽生市）生まれ。20歳で下手子林村名主を襲名後、羽生領組合所世話役・下手子林村戸長・不動岡中学校連合会委員などを歴任した。産業の振興や勤儉貯蓄にも意を用い、また学制頒布後は学校教育の普及をはかった。明治19(1886)年には北埼玉郡立中学校が廃止となったことを憂慮し、自ら私財を投じるとともに、郡内有志の協力のもと私立埼玉英和学校を創設。同校は、文右衛門の没後大正10(1921)年に県立に移管となった。これが、現在の県立不動岡高校の前身である。



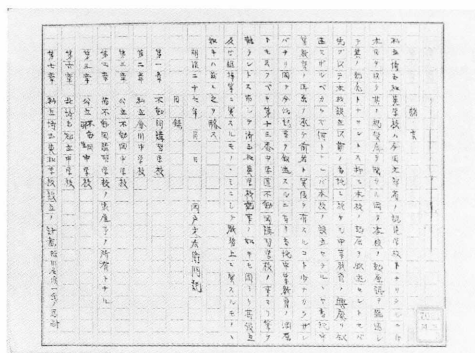
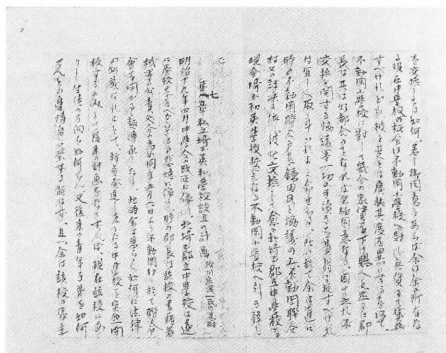
岡戸文右衛門



43



44



45

43 私立埼玉英和学校の外観（埼玉県立不動岡中学校 創立40周年記念絵葉書のうち） 埼玉県立文書館所蔵 岡戸家文書34
公立中等機関の空白期、当学校は県内で最も整った各種学校として知られていた。左が岡戸文右衛門、右が創設に際しともに中心となった網野長左衛門。

44 私立埼玉英和学校設置願 明治19(1886)年 埼玉県立文書館収蔵 埼玉県行政文書 明1862-169
本学校の新設に際し県に提出された文書。敷地建物や経費予算・株主規約・生徒心得などが記されており、学校経営や教育方針の詳細を知ることができる。なお、発起人のひとりである文右衛門は、「勝三郎」の名で見える。

45 [私立埼玉英和学校起原誌] 明治27(1894)年 埼玉県立文書館所蔵 岡戸家文書3
北埼玉地方における中等教育の興廃から、私立埼玉英和学校の設立及び維持等の経緯について、文右衛門自身が明治27(1894)年に執筆したもの。単に県立不動岡高校の学校誌としてのみならず、本県の教育史上貴重な資料である。

長谷川敬助

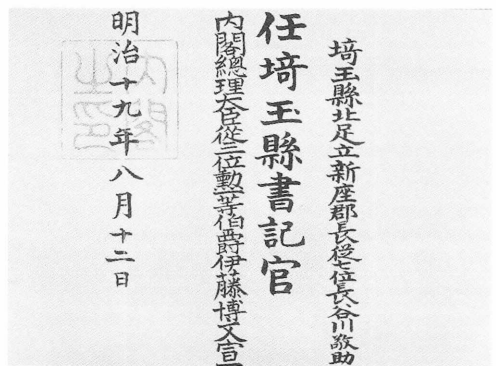
はせがわ けいすけ

嘉永3年(1850)7月28日～
大正11年(1922)7月16日

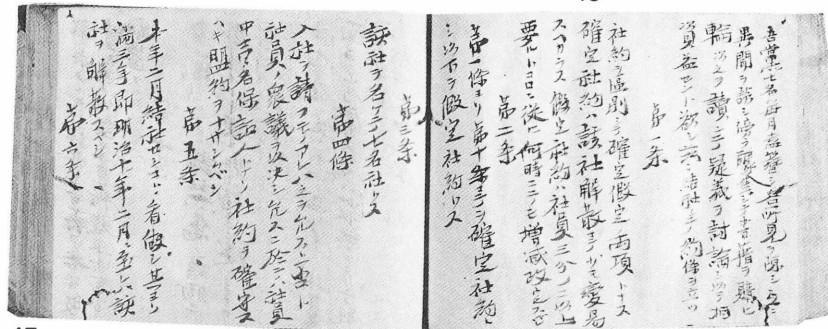
北河原村(現・行田市)生まれ。明治12(1879)年埼玉県令白根多助に見出され29歳で入間・高麗郡長、30歳で県会議員、翌年には県会議長となり、県政の中心人物として活躍した。その後一旦は県政から退くが、明治19(1886)年には民間出身としてはじめて埼玉県書記官に任命され、第二部長にも就任し、埼玉県知事吉田清英を補佐した。同23(1890)年に県書記官退任後、実業界に進出。明治31(1898)年に埼玉農工銀行を創立し頭取となるが、大正4(1915)年一切の公職から隠退した。



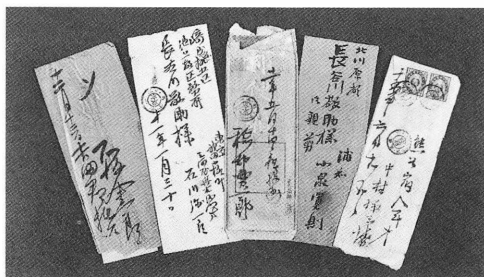
46



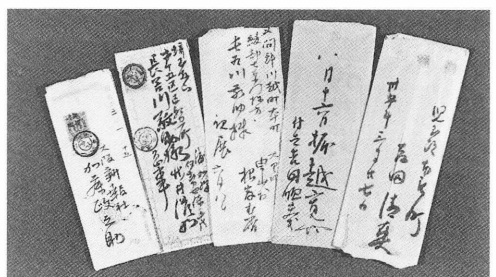
48



47



50~54



55~59

46 [七名社員集合写真] (敬助一後列右から2人目一) 明治40(1907)年 埼玉県立文書館所蔵 中村(宏)家文書254

47 [七名社約定写] (手控のうち) [明治] 埼玉県立文書館所蔵 中村(宏)家文書57

七名社は自由民権思想の高揚にともない、明治8(1875)年県内ではじめてつくられた政治社交団体であり、敬助はその同人のひとりとして名を連ねていた。写真は明治40(1907)年に行われた七名社記念祝宴の日に撮影されたもので、結成当初の参加者である敬助(後列右から2人目)・中村孫兵衛・小泉寛則・石川弥一郎・鯨井勘衛・稲村貴一郎・石坂金一郎が顔を揃えている。

48 [埼玉県書記官任命辞令] 埼玉県立文書館保管 長谷川家文書765

50~54 [七名社同人から敬助宛書状] 埼玉県立文書館保管 長谷川家文書964ほか

左から石坂金一郎・石川弥一郎・稲村貴一郎・小泉寛則・中村孫兵衛の書状。石坂・稲村・中村の三氏は、後に県会副議長となっている。

55~59 [敬助宛書状] 埼玉県立文書館保管 長谷川家文書950ほか

根岸武香・加藤政之助ら、埼玉県会から貴族院議員や衆議院議員となった人々からの書状も多数残されており、交友関係の広さが窺える。

展示資料一覽

● 琴寄村名主 小林官吉

- 1 明治年間元垣樋管伏替図
- 2 明治年間元垣樋管伏替図(影写)
- 3 [埼玉郡向川辺領・葛飾郡嶋中川辺領水腐地絵図]
- 4 [埼玉郡向川辺領絵図]
- 5 為取替議定書之事(官古家督相続二付)
- 6 覚(社倉貸附利足請取)
- 7 夫食代拝借割渡小前控帳
- 8 打毀一件諸書物留
- 9 [六代目弥平治遺言讓金割渡帳]
- 10 琴寄村名主褒賞書上

文政6(1823)年
天保3(1832)年
天保7(1836)年
天保8(1837)年
[天保]

埼玉県立文書館保管見沼土地改良区文書100
埼玉県立文書館所蔵c9338
埼玉県立文書館保管小林(茂)家文書1879
小林(茂)家文書470
小林(茂)家文書3088
小林(茂)家文書3226-14
小林(茂)家文書617
小林(茂)家文書5029
小林(茂)家文書5248
小林(茂)家文書108

● 忍藩の砲術師範 井狩官太夫

- 11 [忍城内外絵図](複製)
- 12 起請文前書之事(武衛流鉄砲伝授)
- 13 起請文前書之事(武衛流鉄砲伝授)
- 14 相州鎌倉大筒御場所絵図
- 15 武衛流砲術拾遺玉筒二而膝台頼付百打中リ附帳
- 16 [沙汰書](砲術師家御免)
- 17 [沙汰書](房州備場へ異国船渡来有之御出張之節御供心懸被仰付)
- 18 [官太夫陽居願]
- 19 砲術形状図式
- 20 武衛流火術日月星巻業目録 全
- 21 [万覚書](西洋火色集他)
- 22 [烟火製造販売営業鑑札附与願]
- 23 心覚之写(矢場打葉煙之方、黄煙、煙之結方)

文政7(1824)年
弘化2(1845)年
天保4(1833)年
嘉永4(1851)年
[慶応3(1867)]年
[嘉永6(1853)]年
明治4(1871)年
安政4(1857)年
[明治]
[明治]
明治28(1895)年

埼玉県立文書館所蔵c5547
原資料は、学習院大学史料館収蔵(阿部家文書)
埼玉県立文書館保管田口新吉氏収集井狩家文書11
井狩家文書10
井狩家文書129
井狩家文書71
井狩家文書97
井狩家文書87
井狩家文書135
井狩家文書7
井狩家文書26
井狩家文書57
井狩家文書54
井狩家文書81

● 文明開化期の国際人 清水卯三郎

- 24 [清水卯三郎書状](パリへ出航後、停泊地アレキサンドリアから根岸友山・伴七宛)
- 25 [清水卯三郎書状](パリ到着後、根岸友山・伴七宛)
- 26 出版々権御願(西洋烟火之法)
- 27 版權免許之証(西洋烟火之法)
- 28 [追賞状](故清水卯三郎、東京書籍商組合在職中ノ功勞二付)
- 29 明細書(齒科解剖学図譜)
- 30 齒科学叢書
- 31 著作權譲渡登録願(齒科解剖学図譜)
- 32 顕彰状(故清水卯三郎、齒科会二寄与サレタルニ付)・賞状入
- 33 わがよのき 上

[慶応3(1867)]年
[慶応3(1867)]年
明治14(1881)年
明治14(1881)年
大正元(1912)年
[明治]
明治31(1898)年
[明治]
昭和25(1950)年
[明治32(1899)]年

埼玉県立文書館保管根岸家文書5138
根岸家文書5139
埼玉県立文書館所蔵清水家文書15
清水家文書17
清水家文書27
清水家文書10
清水家文書43
清水家文書12
清水家文書41
清水家文書1

● 宮大工 三村正利

- 34 大工口伝秘書(鳥居事外6件)
- 35 宮殿秘千木方付新之大事口説
- 36 御天守百分之一之地割
- 37 大坪矩改極起規矩控二巻
- 38 大坪矩改極起規矩控三巻
- 39 大坪矩改極起規矩控四巻
- 40 [妻沼鞍喜院聖天宮他木割図]

文化2(1805)年
文政13(1830)年
天保10(1839)年

埼玉県立文書館保管三村家文書25
三村家文書8
三村家文書45
三村家文書61
三村家文書62
三村家文書63
三村家文書52

● 私立埼玉英和学校の創始者 岡戸文右衛門

- 41 [辞令](岡戸文右衛門、不動岡中学連合会議員当選)
- 42 [賞状](岡戸文右衛門、不動岡羽生中学校費寄付二付)
- 43 私立埼玉英和学校の外観(埼玉県立不動岡中学校創立40周年記念絵葉書のうち)
- 44 埼玉英和学校設置願
- 45 [私立埼玉英和学校起原誌]

明治14(1881)年
明治18(1885)年
明治19(1886)年
明治27(1894)年

埼玉県立文書館所蔵岡戸家文書24
岡戸家文書10
岡戸家文書34
埼玉県立文書館収蔵埼玉県行政文書1862-169
岡戸家文書3

● 埼玉県書記官 長谷川敬助

- 46 [七名社員集合写真]
- 47 [七名社約定写](手控のうち)
- 48 [埼玉県書記官任命辞令]
- 49 [埼玉県第二部長任命辞令]
- 50 [石川弥一郎書状](七名社第2期契約之義二付)
- 51 [石坂金一郎書状](年回法事執行及ビ興入期日二付)
- 52 [稻村貴一郎書状](来臨二付回答)
- 53 [小泉寛則書状](郡制発会等二付)
- 54 [中村孫兵衛書状](那須野原近況二付)
- 55 [加藤政之助書状](民権運動二当り流行二後レナラザル様)
- 56 [竹井澹如書状](県庁へ相談事二付)
- 57 [根岸武香書状](会合欠席二付)
- 58 [掘越寛介書状](代理吉田順夫差出二付)
- 59 [吉田清英書状](責務解除ノ件、示談成立二付金子請取)

明治40(1907)年
[明治]
明治19(1886)年
明治19(1886)年
[明治11(1878)]年
[明治11(1878)]年
[明治]
[明治]
[明治15](1882)年
明治13(1880)年
明治10(1877)年
[明治]
[明治]
明治35(1902)年

埼玉県立文書館所蔵中村(宏)家文書254
中村(宏)家文書57
埼玉県立文書館保管長谷川家文書765
長谷川家文書764
長谷川家文書964
長谷川家文書1287
長谷川家文書1030
長谷川家文書969
長谷川家文書1280
長谷川家文書950
長谷川家文書912
長谷川家文書915
長谷川家文書1288
長谷川家文書1238

協力者／協力機関

岡戸 さと／小林 昭子／清水多み子／清水 剛／鈴木紀三雄／田口 新吉
中村 宏平／根岸 喜夫／長谷川英世／見沼土地改良区／三村 武 (敬称略)

主要参考文献

小池信一「史料紹介 清水卯三郎の書翰」(『埼玉地方史第2号』) 1976
行田市郷土博物館 第8回企画展展示図録『忍藩の砲術』 1994
長井五郎『焔の人・しみずうさぶろうの生涯』 1983 さきたま出版会
『埼玉県議会史』・『埼玉県教育史』・『新編埼玉県史』

平成12年度第2回収蔵文書展
「北埼玉地方の文書－近世・近代を支えた人々－」

発行日：平成12年10月
編集・発行：埼玉県立文書館
〒336-0011 埼玉県浦和市高砂4-3-18
TEL 048-865-0112 FAX 048-839-0539
E-mail p650112@pref.saitama.jp
印刷：関東図書株式会社

利用案内

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日、国民の祝日・休日、
毎月末日、年末年始
特別整理期間（春秋各10日以内）

交通案内

JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線：
浦和駅西口下車徒歩12分

JR埼京線：
中浦和駅下車徒歩15分

国際興業バス：県庁裏下車
浦和駅～北浦和駅(大戸経由)
浦和市内循環（北周り）



SAITAMA PREFECTURAL ARCHIVES